

# 環境と健康

環境保健・生活科学・コミュニティ活動の総合情報紙

## 地域活動支援センター事業（概要）

地域活動支援センターは、環境協の公益事業部門として、公衆衛生推進協議会（以下、公衛協）を主としたコミュニティにおける環境づくり、健康づくりの支援に取り組んでいる。環境協のミッションである「総合的環境保健のまちづくりを実現するためのライフスタイルづくり・人財づくり」達成に向けて、平成21年度の地域活動支援センター事業について、新規事業を中心に紹介する。

地域活動支援事業として、全県共通事業重点メニューの推進に加え、新たに「市町公衛協事務局活性化事業」を実施する。公衛協活動を展開するにあたり、必要不可欠な要件である事務局機能。事業を通じて事務局の強化、活性化を図ることで、自立的な活動が可能な公衛協づくりを目指す。

主な内容は、事務局員人件費など財源面での支援、事務局員ならびに機能リーダーの力量形成を目的とした会議・研修の開催など。平成21年度は、企画づくり、企画運営のための力量形成に力を入れる。平成24年までの4カ年

度を支援期間とし、年度ごとに実施公衛協の申請を受け付ける。

そして、当会に設置される「脱温暖化センターひろしま」（正式名：広島県地球温暖化防止活動センター）を地域活動支援センターの脱温暖化部門として運営することとした。県内

18の地球温暖化対策地域協議会（平成21年3月末現在）216人の地球温暖化防止活動推進員（平成20年度）の活動支援のほか、推進委員の育成、メディアと連携した広報活動などを通じて全県的な脱温暖化活動推進に対するリーダーシップを発揮していく。

新規事業のほか、平成20年度より実施している「地域活動支援基金活用事業（環境啓発ポスター・標語コンクール、環境と健康のコミュニティ助成事業）」や、各種研修の開催などを通じ、公衛協の円滑な事業活動に繋げるうえで最大限の支援を行う。なお、平成21年度地域活動支援センター事業の詳細については、4月24日に開催する第1回公衛協事務局担当者会議での説明を経て、実施の運びとする。

### 公衛協事務局の活性化へ財源面で支援

### 脱温暖化センターと一体となり活動

## 行動憲章や経営方針を定めて新年度へ

### 将来見据え新法人移行準備委員会を設置

### 平成21年度協会事業計画



協会の事業運営にあたりましては、平素より地区衛生組織の関係者並びに行政及び関係企業の皆様には大変お世話になっており、深く感謝申し上げます。去る三月初旬に開催された理事会におきまして、第七期に引き続き第八期の理事長を仰せつかりました。新しく始まる二年では、協会の将来を左右する新法人移行という極めて大きな課題を抱えています。また、新規事業として、地区衛生組織活動活性化の観点から、公衛協の事務局を中長期的な視点で支援する事業を策定したところで、これを成し遂げることが最大の任務と心得て、与えられた重責を全うする所存でございます。引き続き皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

平成二十一年四月 理事長 近光章

平成二十一年度が間近に迫った平成二十一年三月五日・六日に評議員会・理事会が開催された。主な議案は、平成二十一年度予算の補正と平成二十一年度の事業計画・収支予算であった。この重要議案の審議に先立ち、今般は、新年度向け「行動憲章」や「経営方針」を定めて事業計画策定に当たったことを報告した。

まず、「行動憲章」策定に当たっては、昨今の企業不祥事や多発などを受けて組織の危機管理及び社会的責任全うの観点から、組織としての立場を明文化するものとして四項目、職員の立場として二項目を定めた。策定で重視したことは、役

職員が高い倫理観に基づいて期待される社会的使命を果たすべく意識的に行動していくというものである。次に、「経営方針」策定では、三本の柱で方針を定めた。一つ目は、公衆衛生推進協議会への支援の視点である。二つ目として、協会事務局組織の対内外向け取り組みの視点である。最後は、将来への対応の視点である。

平成二十一年度は、これらの方針に基づいた事業計画と収支予算を策定し、評議員会・理事会に諮った。新年度の事業の柱は、経営方針と連動しており、公衆衛生推進協議会への支援の視点から、新規事業の目玉として「公衛協事務局活性化事業」

継続されること、それは「歩く」ことだと思えます。私も二十年余、公務に就いていた間公用車をよく使い、歩くことを忘れていました。人は足から老化が始まることを実感しました。健康管理は「歩く」ことからの出発で、私は最近歩行者用プールで歩くことを始めました。また、今日のようにスピード社会、変化の多い社会はまさにストレス社会です。不安、難問、深刻な悩み、さらに緊張感の連続による心労は大変で、できるだけストレスを回避し、気分転換をしながら元気に生活していくことが必要になります。そのためには、必ず年一回の定期健康診断を受けることが大切だと思います。長寿社会は健康が第一です。皆さんも元気に歩きましょう。

（広島県社会福祉協議会会長 山下三郎）

3月6日に開催された第二十八回理事会



希望と期待の中で始まった新年度ですが、二〇〇九年の今年も、どんな年になるのでしょうか。政治経済は大変混乱しておりますが、この長寿社会にあって一番大切なことは「健康」です。経済人や政治家であればなおさらですが、どんな人も健康でないと十分に社会的責任を果たすことができません。近年、ある日突然

### きんせんか 琴線歌

希望と期待の中で始まった新年度ですが、二〇〇九年の今年も、どんな年になるのでしょうか。政治経済は大変混乱しておりますが、この長寿社会にあって一番大切なことは「健康」です。経済人や政治家であればなおさらですが、どんな人も健康でないと十分に社会的責任を果たすことができません。近年、ある日突然

### 日常生活の中で「歩く」

死亡することを聞きますが、これは自分の体の管理が不十分なためだと思われま

刻な悩み、さらに緊張感の連続

による心労は大変で、できるだけストレスを回避し、気分転換をしながら元気に生活をしていくことが必要になります。

そのためには、必ず年一回の定期健康診断を受けることが大切だと思います。

長寿社会は健康が第一です。皆さんも元気に歩きましょう。

（広島県社会福祉協議会会長 山下三郎）

環境と保健の未来をめざして

## 財団法人 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1 (広島県公衆衛生会館)  
TEL (082) 293-1511 大代表 FAX (082) 293-1520

(財) 広島県環境保健協会・・・http://www.kanhokyo.or.jp  
脱温暖化センターひろしま・・・http://www.kanhokyo.or.jp/ondan/ondan.html  
広島転倒予防研究会・・・http://www.kanhokyo.or.jp/tentou/  
広島県禁煙支援ネットワーク・・・http://www.menet.gr.jp/kin-en/

